

投稿規定
(2024年2月改訂)

1. 日本新生児成育医学会雑誌への投稿は、依頼原稿を除き、筆頭著者及び Corresponding Author は本学会会員に限ります。医学生・臨床研修医（初期研修医）・専攻医の場合は非会員投稿申請書を提出すれば非会員でも筆頭著者になることが可能ですが、本学会会員を Corresponding Author としてください。
2. 必要なファイルは <https://jsnhd.or.jp/doctor/journal/toukou.html> からダウンロードして下さい。
3. 投稿は、日本新生児成育医学会・学会誌編集委員会の e-mail (toukou@jsnhd.or.jp) 宛に、表紙（論文表題、著者の姓名、所属、職名、e-mail アドレス、原稿枚数、図表の枚数）・本文（要旨、本文、文献、図表のタイトルと説明）・英文抄録（論文表題、著者の姓名、所属、英文抄録）の Word ファイル、図表 pdf ファイル、誓約書、COI、投稿論文チェックリストなどの全てのファイルを添付してご送付ください。

誓約書はホームページからダウンロードした所定の用紙に著者全員が署名押印し、スキャンした PDF ファイルを投稿時に e-mail に添付してください。

* 誓約書には必ず筆頭著者の連絡先、生年月日、医学部卒業年次および全員の自署と押印のうえ提出してください（原稿の表紙や本文には記載しないでください）。

添付ファイルの合計容量は 7MB 以内とし、ファイルサイズが大きすぎて送信できない場合や、事務局から投稿受付メールが届かない場合は、必ず事務局にお問い合わせください。 ※投稿論文の書き方の詳細は 8. をご参照ください。

4. 論文（原著、症例報告、綜説など）は新生児の医学、医療、成育ならびにこれに関するもので、他の雑誌などに未発表のものに限ります。英文論文も受け付けます。ただし投稿前に英語を母国語とする医師、あるいは英語が堪能な医師の校閲を受けるか、英文校正会社の校閲を受けてからご投稿ください。
5. 臨床研究の論文では「ヘルシンキ宣言」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などの研究倫理を遵守してください。
 - (1) 臨床研究の論文（後方視的研究を含む）では倫理委員会または当該委員会の承認を得た研究であること、および介入がある研究では患者（保護者）から同意を得たことを本文中の「対象と方法」の部分に明記してください。所属施設が同意についてオプトアウトなどの方法で対応している場合にはその旨を本文中に記載し、施設の規定を原稿に添付してください。
 - (2) 症例報告では、倫理委員会の審査は不要であるが当該医療機関の倫理審査委員会等の規定に準じ審査を受けたものに対してはその旨を本文中の「緒言」に記載してください。また、審査を受けていない場合は、以下のいずれかにより論文投稿に対する患者（保護者）の同意を得て、その旨を本文中の「緒言」に記載してください。
 - 1) 患者（保護者）から文書による同意を得る。
 - 2) 患者（保護者）から口頭による同意を得て、その旨を診療録に記載する。
 - (3) 症例報告であっても研究的侵襲、試料採取、検査などが行われる場合、患者（保護者）からの同意を得ることが状況的に難しい場合は倫理委員会の承認を得て、その旨を本文中の「緒言」に記

載してください。

(4) いずれの論文においても個人が特定されないことがないよう個人情報の保護に配慮してください。

特に顔写真や家系図を使用する場合は個人が識別できないようにして、論文に使用することに対する患者（保護者）の同意を得たうえで図の説明文にその旨を記載してください。

6. 論文の採否は 2 人ないし 3 人の査読を経たのち、編集委員会で決定します。査読または編集委員会により原稿の訂正を求められた場合は、査読結果通知日から 3 か月以内に再投稿してください。学会誌編集委員会に連絡なく期限を過ぎた場合は新規投稿となります。
7. 掲載された論文の著作権は本学会に帰属します。
8. 投稿論文の書き方は以下の如くです。

(1) 表紙、日本語要旨、本文、文献、英文抄録を 1 ファイルにしてください。原則 10 ページ以内とします。※掲載料に関しては 9. をご参照ください。

(2) 和文原稿は、左横書きとし、当用漢字、現代かなづかい（かなはひらがな）を用い、A4 判 40 字×30 行（文字の大きさは 10.5 ポイント）としてください。英文原稿は A4 白紙に十分なマージンをもって 12 ポイント、30 行としてください。原稿にはページ番号・行番号を記載してください。

(3) 本文の 1 ページ目に、論文表題、著者の姓名、所属、職名、e-mail アドレスを明記し、原稿枚数、図表の枚数を記載してください（筆頭著者が非会員の場合は会員の連絡担当者も記載してください）。2 ページ目に要旨を記載し、3 ページ目以降に本文、文献、図表のタイトルと説明を記載して下さい。最終ページに英文抄録（英文タイトル、著者の姓名の英語表記、所属の英語表記、英文抄録）を記載して下さい。

※e-mail にて査読結果を返送しますので必ず連絡が取れるアドレスを明記してください。

(4) 論文の構成としては、下記例のようにまとめてください。

研究論文：要旨－緒言－対象・方法－成績（結果）－考察－結論

症例報告：要旨－緒言－症例－所見・経過－考察－結び

(5) 要旨（和文：400 字以内、英文：300words 以内）は、それだけで論文の内容がわかるように、2 ページ目にまとめてください。和文原稿の場合は本文の最終ページに、英文抄録（300words 以内）を付けてください。なお、英文原稿の場合は最終ページに和文抄録を付けてください。

(6) Key word（英語で 5words 以内）を要旨の後につけてください。表題に用いられている用語や「新生児」、「早産児」といった多くの論文に関わる用語はなるべく避けて下さい。

(7) 抄録を含め、英文は英語を母国語とする医師、あるいは英語が堪能な医師の校閲を受けるか、英文校正会社の校閲を受けてください。

(8) 和文原稿では、日本語で表現できる用語はできるだけ日本語で書き、外国語の使用を極力避けてください。ただし、文献、人名、地名、酵素名、化学物質名、薬品名は原則として原語を用いてください。

用語は日本医学会医学用語辞典と日本小児科学会用語集に準じて使用してください。略語を使用する場合は原則として初出時に「日本語（英語のフルスペル：省略形）」の形式で記載してください。

なお、あまり意味のない略語の使用は避けてください。

(9) 図表は必要なものを厳選し、そのまま印刷できるものを pdf データにてお送りください。タイトルと説明は本文の末尾に記載してください。図表には pdf データ内に番号 (図○、表○) とタイトルをつけ、図や表の参照位置を本文に明記してください。掲載が決定した際には、元データをお送りいただきます。

(10) 度量衡は km, cm, mm, μ , L, mL, kg, mg, μ g, mEq/L, mg/dL などの単位を、数字は 1, 2, 3 などの算用数字を用いてください。

(11) 文献は引用順で末尾に一括して、次の形式で記載してください。著者は 3 名までは全員を、3 名以上の場合は 3 名までを書き、他や et al をつけてください。また、単行本の場合は編者の名を記入してください。

雑誌の場合 著者名. 論文題名. 雑誌略名 年; 巻: ページ初-終.

外国誌は Index Medicus, 邦文誌は医学中央雑誌収載誌略名をお使いください (略名医学中央雑誌のホームページから検索できます)。

著書の場合 著者名. 表題. 編者, 書名. 版数, 発行社, 発行地, 発行年 (西暦); 引用ページ初-終.

ネット上の情報の場合 著者名. 表題. 出典元 URL. (最終確認日).

例: 雑誌

森岡一朗, 中村 肇, 香田 翼他. 我が国の超早産児に対する黄疸管理と治療の現状. 日新生児成育医学会誌 2015; 27: 299-304.

Konishi M, Fujiwara T, Naito T, et al. Surfactant replacement therapy inneonatal respiratory distress syndrome-A multicentre, randomized clinicaltrial: Comparison of high-versus low-dose of surfaxtant TA. Eur J Pediatr 1988; 147: 20-25.

例: 著書

楠田 聡. 新生児医療と内分泌疾患. 新生児内分泌研究会編, 新生児内分泌ハンドブック. 第 1 版, メディカ出版, 大阪, 2008; 12-17.

Miyasaka K. Mechanical Ventilation. In: Holbrook PR, ed. Textbook of Pediatric Critical Care. WB Saunders, Philadelphia, 1993; 442-464.

例: ネット上の情報

日本新生児成育医学会 感染対策予防接種委員会. NICU・GCU におけるロタウイルスワクチンの定期接種化に伴う考え方. 2020. <http://jsnhd.or.jp/pdf/Rotavirus20200625.pdf> (最終アクセス: 2022 年 9 月 1 日)

(12) 妊娠回数・分娩回数のかぞえ方は以下を参照してください。

1) 妊娠回数のかぞえかた

現在の妊娠を、妊娠回数に算入する。

(「○妊○産」と表現し、「経」の文字を使用しない、または、「G○P○」と表現する。)

2) 分娩回数のかぞえかた

妊娠満 22 週に達した後に娩出したものを分娩回数に算入する。(周産期登録データベースへの入力については、分娩後に入力する場合であっても、当該分娩を回数に加えない。)

3) 多胎における妊娠・分娩回数のかぞえかた

多胎は、何人の児が生まれようとも、それらが多胎妊娠であれば、妊娠回数は「1」、分娩回数も「1」である。

(13) 「投稿論文チェックリスト」をホームページからダウンロードし、各項目を確認してチェックマークを入れたファイルを、原稿とともに e-mail に添付してお送りください。なお、規定に沿わない原稿は受付できないことがあります。

(14) 筆頭著者が卒後 5 年以内の研修医・専攻医で非会員として投稿する場合は、非会員投稿申請書をホームページからダウンロードし、必要事項を入力の上、原稿とともに e-mail に添付してお送りください。

9. 掲載料：組上がり 4 ページまでは学会が負担します。4 ページを超える分については 1 ページ当たり 10,000 円を申し受けます。ただし、学会誌編集委員会より依頼した原稿についてはこの限りではありません。別刷は実費で印刷しますので、校正の時に希望部数を記載してください。誌面への掲載後、希望者には PDF データをお渡しいたします。PDF データは個人使用に限ります。

原稿送信先：e-mail：toukou@jsnhd.or.jp

公益社団法人日本新生児成育医学会学会誌編集委員会 宛

10. 利益相反に関する自己申告書の提出

日本新生児成育医学会が定めた[利益相反指針および指針細則](#)に則り、筆頭著者と共著者それぞれが「発表者の利益相反自己申告書」に記入・署名しスキャンして PDF ファイルとしたうえで、投稿時に e-mail に添付して提出してください。発表には、学術集会講演録、原著論文、綜説、委員会報告、教育セミナーワークショップ報告書などが含まれます。原則として利益相反状態の有無は論文の採択には影響しません。論文が採択された場合、利益相反状態の有無にかかわらず、申告書の内容は学会誌に明記されます。

【利益相反状態にある場合の記載例】

・著者名：開示事項、企業・団体名。他の著者に関しては日本新生児成育医学会の定める利益相反に関する開示事項はありません。

【利益相反状態にない場合の記載例】

・日本新生児成育医学会の定める利益相反に関する開示事項はありません。

11. 再投稿について

(1) 査読コメントに対する回答は Word ファイルを用い、査読結果 1・2、編集委員会の意見、それぞれに対して個別に回答いただき、変更点を一覧表にしてご提出ください。

(2) 再投稿原稿は Word ファイルを用い、修正された箇所が分かるよう、アンダーラインを引いてください。

(3) 再投稿図表は PDF ファイルなどを用い、前回から修正された箇所が分かるよう、アンダーラインを引いてください。修正がない場合も送ってください。

12. 本会会員以外の若手医師からの投稿受付について

筆頭著者が卒後 5 年以内の医師の場合、下記条件のもとで入会をせずに投稿可能です。ご利用の際は非会員投稿申請書をご提出ください(<https://jsnhd.or.jp/doctor/journal/toukou.html> よりダウンロードして下さい)。なお、掲載決定後にご入会いただくことも可能です。

13. 日本語論文の英文化、または英語論文の日本語化による再掲載 (secondary publication)

はホームページ (<https://jsnhd.or.jp/doctor/journal/toukou.html>) をご参照ください。

平成 28 年 5 月 14 日改訂

平成 29 年 10 月 14 日改訂

平成 30 年 1 月 19 日改訂

2019 年 5 月 10 日改訂

2020 年 4 月 10 日改訂

2020 年 7 月 20 日改訂

2020 年 11 月 16 日改訂

2024 年 2 月 5 日改訂